

議長	局長	課長	補佐	係長	係
森	谷	迫田	犬伏	中西	松元
				竹下	



(様式 2)

令和元年 6 月 3 日

始良市議会 議長 様

会派名 市政クラブ始輝
代表者氏名 湯之原 一郎

印



調 査 研 究 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和元年5月23日
- 2 場所 日置市役所 3階 議会会議室
- 3 目的 日置市健康モデル都市プロジェクト事業について
- 4 該当する政務活動費の使途項目
調査研究費
- 5 支出経費の内訳と金額
4, 0 4 1 円 詳細は別紙
- 6 参加議員名 和田議員・湯元議員・犬伏議員・岩下議員・東馬場議員
(共同研修会派より) 公明党 新福委員
- 7 活動成果の概要、所見
行政担当者と市議会議員と別々に調査できたことで深く調査ができた。当市もまずテーブルに乗せるべきである。
- 8 成果物、資料等
別紙の通り

市政クラブ始輝

令和元年度 政務活動 日置市健康モデル都市プロジェクト事業について
令和元年5月23日（木）

目的	地方創生交付金による日置市健康モデル都市プロジェクト事業についての 実態調査
出張場所	日置市役所 3 階 議会 会議室
開始日	令和 元年 5月23日(木) 14時00 分出発
終了日	令和 元年 5月23 日(木) 17 時00分帰着
作成者	会計 鈴木俊二

日付	項 目	単 価	単 位	料 金	備 考
2019.05.23	ガソリン代	¥1,041	1式	¥1,041	参加者6名 走行距離 64km
2019.5.23	お土産代	¥3,000	1	¥3,000	
合計				¥4,041	

領 収 証

士産代

市政クラブ 始輝 様 令和元年 5月23日

★ 3,000

但
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)



あじふ

代表 岩 川 中
鹿児島県始良市西餅田3193-14
TEL (0995) 66-5052

コクヨ ウケ-1048

領 収 証

No 208899

令和

平成

1

年

5

月

23

日

市政クラブ 始輝 殿

領収金額	百万	千	円
	7	1041	

(内訳 商品代 円 消費税 円)

但し ガリイニ代と(7

上記金額正
確かな



井上石

鹿児島市堀江町
〔営業所名〕

会社

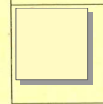
0226-0151

走行距離 64km

印

紙

係 印



請求額¥

現金¥

小切手¥

- ◎ 社印・係印なきものおよび金額訂正したものは無効とします。
- ◎ この領収証は複写以外は無効となります。

H27.10 300冊

別紙【復命事項】

【日 時】 令和元年5月23日（木）15時30分～17時

【視察場所】 日置市役所3階 議会会議室

【目 的】 日置市健康モデル都市プロジェクト事業について
地方創生推進法交付金（国庫）

【対 応 者】 健康保険課 長谷課長 他5名 及び 広報委員会 黒田委員長 他3名

【内 容】

別紙記載の目的及び事業区分に従い、事業を推進しているが、医療費の削減を大きな目標に業務を遂行しているとの事であった。

しかしながら、まだ2年目が終了した段階において、それを調べるすべもなく、3年目は以前の計画に準じて進めていくとの事であった。

リング教室は、30歳～79歳を対象としており、これまではほぼ定員に達する形で運営ができていた。

今期よりフェローアップ研修を実施し、地域の健康リーダーの創出を目指す、開講する教室の受講生が思ったよりも芳しくなく、一部の熱心な市民にしか、活動や情報が行き届いていないのではないかと不安の声も聞こえた。

4年目以降はどのように進めていくのか、これから検討していくとの事であった。

また、議員との意見交換会では、市役所職員が実際に講座の内容を理解していないため、事業の重要性を認識しておらず、それによりこの事業が市民に浸透しない一因になっているのではないかとの見解を示された。

【私 見】

正直な話、職員は大きな仕事をしているという思いはあるが、最終的な目標への道として、自信をもって業務に取り組んでいるようには思わなかった。

しかしながら、この事業は結果がでるまでに時間がかかることが分かるため、しっかりと事業の趣旨を理解して業務に遂行してもらえる職員が必要だと思った。

市長からのトップダウンにより、業務を行うことになったが、日置市としてはこれを継続していくことで、健康都市になっていくのではないかと感じた。

市議会としてはこの事業を今後も継続して実施することを後押ししていくようなので、議員間では事業内容が結果に結びづくと考えているようだった。

始良市においても、まずはテーブルに乗せて検討してもらうことが重要だと思う。

今回は行政の担当者と市議会議員の話を別々に聞くことができたので、少し本音も聞くことができたので、今後も場合によってはこのようなスタイルで行ってもいいのかなと感じた。